

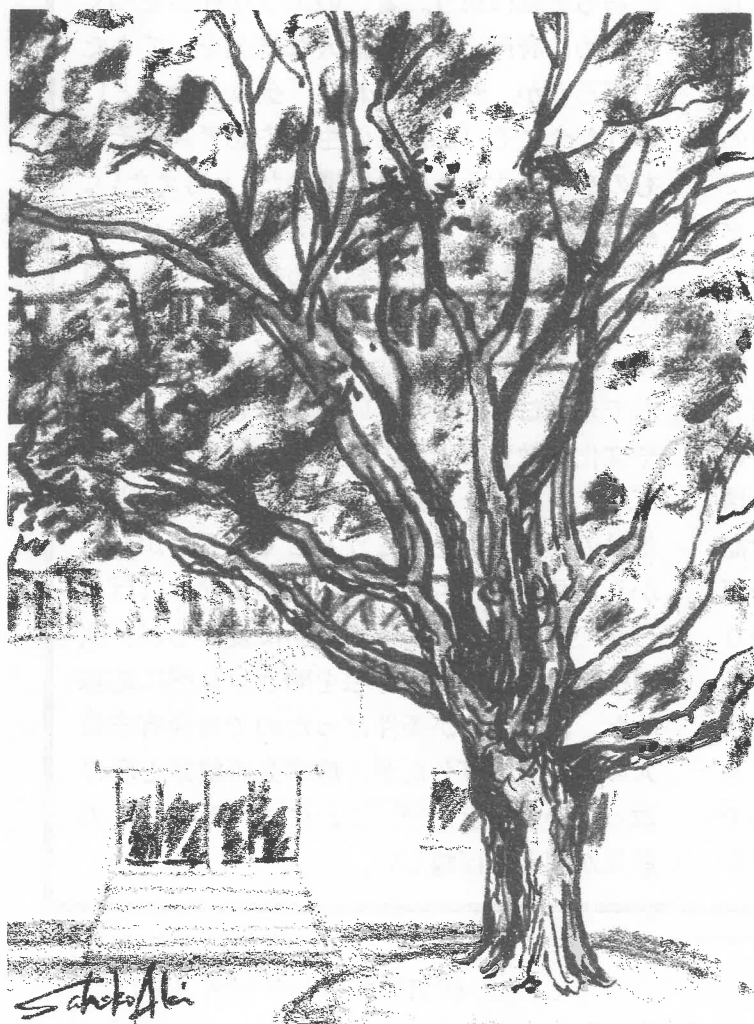
身近な自然環境・歴史的文化的環境・生活環境を保全・回復・創成する

NPO 法人すいた市民環境会議

2008年6月 第57号

吹田の郷

発行/NPO 法人すいた市民環境会議 会長/小田忠文 ホームページ<http://www3.big.or.jp/~sskk/sskk.htm> 設立/1997年3月15日
事務局/〒564-0062 大阪府吹田市垂水町3丁目8-28-106 中村小夜子 TEL/090-8375-0647 FAX/06-6386-9491 編集/会報委員会
年会費/正会員(個人・団体)1,000円、正会員(法人)10,000円、購読会員1,000円、賛助会員10,000円 郵便振込口座番号/00980-3-28845



目次

1. 表紙
2. 会長コラム 表紙の大木説明
3. 変わりゆく千里丘
4. 吹田 たんけん・はっけん・ほっとけん
6. 吹操跡地アイデアコンペに応募
『百年の森』
8. 吹田の古木・大木マップ完成
10. 生活環境ニュース
「みどりのカーテン」シーズン開幕
11. 環境学習バスツアー報告
榎原昆虫館 ほか
12. 行事案内 寄付のお礼 ほか

コラム 春夏秋冬

会長 小田忠文

橋下徹氏が府知事選で圧倒的な差をつけて当選し、全国最年少知事が誕生したのが1月27日。あの日からまだ4ヶ月あまり。大阪府には膨大な借金があるそうだがわれわれ府民にはピンとこない。▲府の行財政改革の流れの中で、万博記念公園にある府立国際児童文学館（わが国ではじめての世界にひらかれた子どもの本の資料・情報・研究センター）が府立図書館に統合されるという案が浮上している。▲そして予算削減の影響はすいた市民環境会議にも及んできた。一つは打ち水事業ができないこと。打ち水用の水は大阪府の下水処理場の高度処理水をタンク車で運んでもらっていたが、その予算が出ない。打ち水はヒートアイランド対策の啓発イベントとしてはよいが、実行に繋がるイベントとしては費用対効果を考えると少し疑問があるので私たちはこだわらない。▲もう一つは大阪府と市町村、企業、NPO とが一緒に運営している「かけはし」というインターネットでの情報交換の場があり、そこに環境会議から世話人を出している。その運営には大阪府の予算が使われているが、その運営もあやしくなりつつある。▲文化、教育、福祉などあらゆる生活場面で既得権益という考えがあり、「前年の予算はついてくる」と思い続けてきた。しかし既得権益って何だろう。▲ボタン一つで空調ができ、風呂が沸き、ご飯が炊け、テレ

ビやパソコンで世界が見える。東京への日帰りがあたりまえ。夜中でも店で物が買え、同じように病院に行けば診察してもらえる。これらが既得権益なのだろうか。一方で、殺人をはじめとする犯罪が日常化し、学校では学級崩壊から学校崩壊、教育崩壊、果ては医療崩壊も顕在化してきた。地域の力が育ってきたとは言い難く、自殺者の数は減ることはない。▲気づかなかったとは言え、膨大な借金の上に成り立った繁栄をあたりまえと思い、自然や社会そして他人に対する感謝の気持ちが失われていったことがこれらの現象の基礎にあると私は思う。▲このような社会をつくるために府民・国民は膨大な借金をしてきたのだろうか。知事が変わり「金は無い」といわれた今こそ、「私たちの生活や思考回路そのものを見直すための良い機会だ」と考えたい。▲「自分達でできることを実行に移そう」と呼びかけ活動してきた私たちはこれからも府民として地球温暖化防止のために、みどりのカーテンや雨水利用など大きな予算がなくてもできることを続けていこうと思う。▲環境や文化、教育は未来の人々に大きな影響を及ぼすファクターである。知事が各部門にどれだけのウェイトを置こうとしているのかしっかりと見定め、ものを言っていかなければならないと考える。▲最後に話は変わるが、吹田操車場跡地の利用方法を問うコンペに応募した。個人応募が条件だったので当会有志数人の連名で応募したが、理事会の総意と受け取っていただきたい。これに対する皆さんの意見が伺えれば嬉しい。

<表紙の大木>

吹田の大木シリーズ (9)

関西大学正門横のクスノキ

関西大学正門横にあるクスノキは幹周り390cmと、吹田市で4番目に太い大木である。お寺の仁王様のごとく堂々たる姿で、毎日3万人近い学生と2千人を越える教職員を見守っており、守護神の役割を担っているように思える。

(表紙画：安芸早穂子 文：平 軍二)

変わりゆく千里丘 失われゆく緑

～みどり豊かな大企業の社宅・グランドなどが巨大なマンション群に～
 とうなる 毎日放送跡地は！！

まちなみ委員 岡村昇二 (浜屋敷 まちなみ案内人)

3月に、浜屋敷「吹田まち案内人」主催の散策会で約20人の参加者を案内してJR千里丘駅からモノレール宇野辺駅まで歩きました。

かつてこの界限は下図で判るように、日本生命など一流企業の社宅やグランドなどが文字通り数珠つなぎにありました。また毎日放送の千里丘放送センター、放送文化館、ミリカスポーツランド、千里の湯などもありました。

いずれも広大な敷地に施設が点在し、多くのスペースが樹木あるいは芝生に覆われていました。これらの土地は、戦後日本経済が発展する中で、一流企業がまだ山林の状態のこの地域を大規模に開発し、企業の福利厚生施設として建設したものでした。

今回歩いてみると、日本生命のあった大きな山一つがブルドーザーにより大きく切り開かれ、中心部のキツネが最近まで生息していた林の部分を除いて、マンションまたは戸建て住宅用地に変わりつつありました。あのキツネ一家はどうしたのでしょうか。寝る場所だけ残してもらっても、餌取りに歩き回る場所がなくなれば住んでいられないでしょう。

隣の富士銀行の運動場跡は、徳洲会病院用地の表示が出ていましたが、金網に囲まれた中は雑草

が生え、淋しい状態でした。次の毎日放送跡は、道路を覆う名物の桜トンネルは健在でしたが、放送文化館や千里の湯の建物は既に撤去されていました。

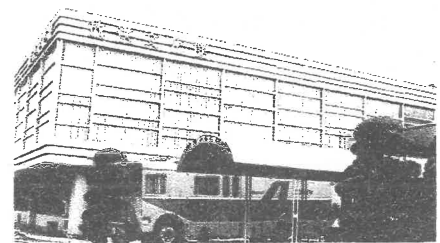
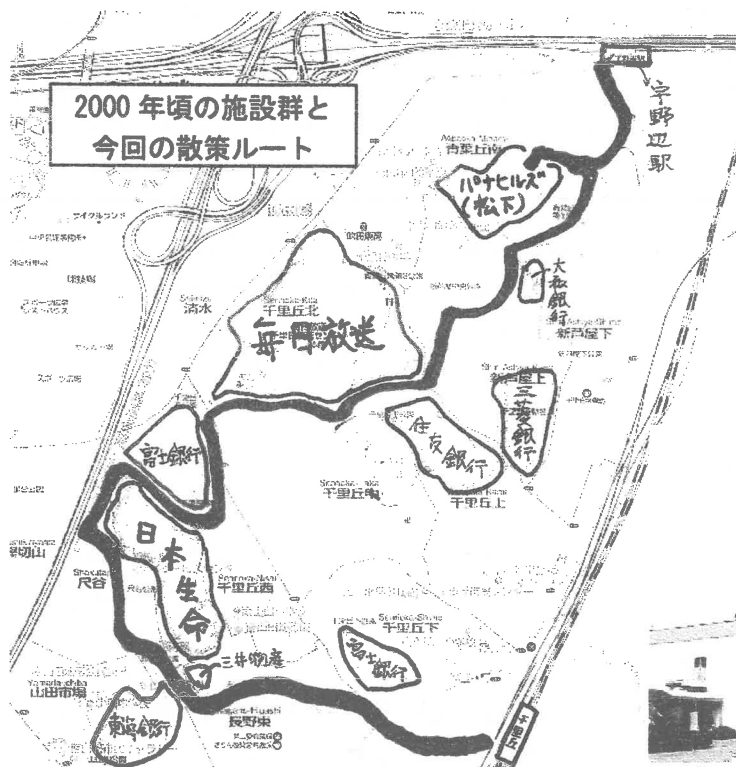
住友銀行社宅跡地から変身したマンション「ルネシーズンズ千里丘」を設計した遠藤剛生設計建築事務所の広村氏(まちなみ委員)の案内で見学させていただきました。中庭に植栽と水路を巡らせてなごみの空間を演出したり、傾斜地を活用した共用のゲストルームなど新しい共同住宅のあり方を見ることができました。

最後に唯一今も残っているパナヒルズ(松下電器のリクレーション施設)を訪問し、一般にも開放されている眺めの良いレストランで昼食を摂って解散しました。

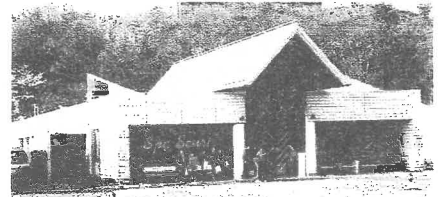
この日のウォーキングを終えて、緑が減り高層マンションが林立する姿を淋しく思うと同時に、毎日放送などこれから開発されるプロジェクトが、周辺環境に配慮して、新住民や周辺の市民にも快適な居住空間が形成されるよう願うばかりです。

2000年に「あろっく吹田」の企画・編集でまちなみ委員の仲間と歩いた当時を思うと隔世の感があります。

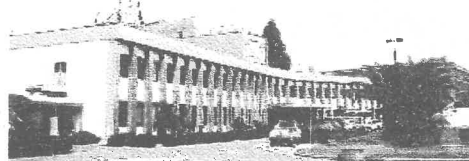
～千里丘のシンボルだった施設～



放送文化館



千里の湯



毎日放送 千里丘放送センター

吹田 たんけん・はっけん・ほっとけん

片寄俊秀（大阪人間科学大学教授・当会顧問）

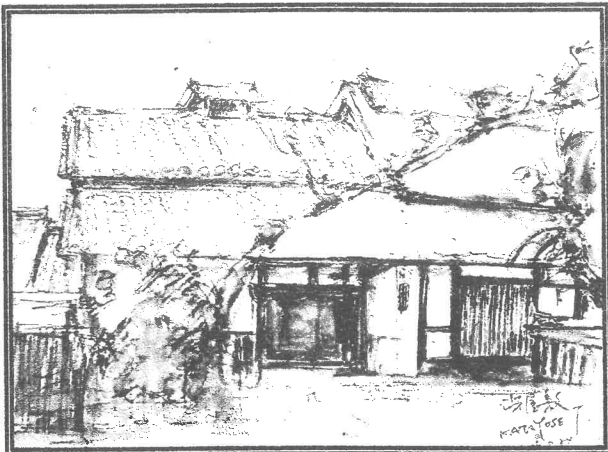
なぜか「吹田まち案内人養成講座」（吹田歴史文化まちづくり協会主催）の講師の一人に選んでいただいた。この5月のはじめ、「浜屋敷」の会場には、十数名の方々がきっちりと座っておられ、見たところ年配の方が多いが、らんらんと輝くその目つきからは、やる気がびんびん伝わってくる。日ごろ大学で見かける、今どきの若い学生たちのとろんとしたまなざしとはまったく違う。これは手ごわいぞと感じて、話を「まち案内人たるものの心得」にしぼることにした。

1 ガイドではなくインタープリターとして

まずは大学の先生らしく！英語で迫ってみた。「まち案内人」を英語ではどう言いますかね？すかさず「タウン・ガイド」という声が返ってきた。近頃のリタイア組は語学も達人だ。じつは「ガイド」ではなく「インタープリター」をめざしてほしいのです、というのがわたしの言いたいことだったが、幸いこの特殊な業界用語はあまりご存じでなかった。

この二つの違いは何か。辞書でひくと、ガイド：案内者、ガイド、指導者、教師。インタープリター：解釈者、解説者、通訳、演出者、演者、演奏者とある。日本語ではさして違いは無く、わが国ではほとんど区別をしていないが、じつはこの二つの違いは大きいのだ。

インタープリターは、大学で言うと修士課程レベルの学問的な裏づけのある案内や解説ができる人を言い、そういう人々を養成するための学問領域と特別な教育課程も海外ではすでに多くの大学に設置されている。少し極端にいうと、他人のつくったガイドブックをほとんど鵜呑みして相手に伝えるのがガイドであるのに対して、自



浜屋敷（スケッチも筆者）

分の力で調べたことを自分の言葉で語るのがインタープリター、となるうか。

すぐれたインタープリターの手にかかると、あらゆるものやコトが光り輝き、いきいきと語りだす。現代ではあらゆる地が、あらゆるものやコトが観光資源になるといわれる所以であり、まち案内人の方々の努力次第で、吹田の町は一躍世界的な観光地となる可能性がある、というわけだ。

2 インタープリターは地域を変える

そこで、わたしがこれまでに会った何人かのすぐれたインタープリターの例を挙げて、そのやり口を説明した。

まずは由布院である。わたしは1970年に大阪での技術系公務員の職を辞して長崎に赴き、長崎総合科学大学（旧長崎造船大学）の教員になったが、彼の地での研究テーマのひとつを「観光」におき、今日までずっと由布院のウォッチャーをしてきた。当時の由布院は、有名な別府温泉の裏に隠れ、「この町にはなにもない」と地域の人たちが嘆く一寒村にすぎず、「このまちに子どもは残れるだろうか」と思い詰めていた時代である。

由布院の「まちおこしリーダー」たちが何をやって今日の隆盛をつくりあげたのであろうか。じつは彼らは「何もない」ことの価値を「発見」し「磨きをかけて売り出した」のである。

彼らは地域のすみずみを針でほじくるようにしてこの地に隠されていた「お宝」の数々をみつけだし、その一つ一つに磨きをかけた。無農薬の野菜、手作りのとうふ、木なりのユズ、清流に群れなす小魚、透明でこんこんと湧き出る温泉とまちの静けさ、そして親切な人との出会いなどなど。大都市圏に暮らす疲れた現代人にとって、これらがいかに魅力的で価値あるものなのかは今さらいうまでもない。かくして由布院は、人々の憧れるまったく新しいタイプの観光地へと変身したのであった。

次の事例は、たった一枚の里の風景写真で延々と一時間語っても聴衆を厭きさせなかったある生態学者の話である。

裏山が雑木林で覆われた何の変哲もない里の風景。彼はまず一匹の蜂になって語り始めた。どこに巣をつくろうか。いろいろなところを飛びながら考えたあげく、ついに農家の納屋の壁の隙間をみつける。なぜそこがいいのか。蜂の天敵はどこにいるのか。何を食べているのか、人間の営み

と昆虫たちとの深い関係などなど、一匹の蜂の波乱に富んだ一生とその暮らしぶりが語られるうちに、なんでもない里の風景は次第に不思議さに満ちたワンダーランドへと変化し、皆でそこを訪れてみようということになった。

もう一つは最近わたしが経験したものである。じつは、2006年に縁あってお隣の摂津市にある大阪人間科学大学への再就職がきまり、さっそく自転車を買い込んで、このまちをくまなく走ってみた。そして住環境としてのあまりの貧しさに驚いた。鉄道の車庫とどぶ川に大地のほとんどを占領され、残されたわずかの空間に庶民がほそぼそと生きている町。大学のキャンパスも狭く、校舎のまん前は阪急電車の殺風景な車庫。なんと悲しい生活空間であり大学キャンパスなのだ！

しばらくは呆然としていたのであるが、ふと、「てっちゃん」(鉄道キチ)の存在を思い出した。

さっそくむかしゼミの学生だった連中や、知り合いの鉄キチたちを招待して、大学の校舎の七階から、眼下に広がる阪急車庫の広大な風景を見せた。

「うわーっ、スゴイ！これぜーんぶ阪急電車なのですね。あ、9000系がある。2000番台の古いのも大切にされています。これが朝はいつせいで出て行き、ラッシュが終わるとまた一斉にここに戻ってくるのですね。ああ、見たいなあ。ボクは一日中ここに座ってみたいです！ここにぜひカフェがほしい。『てつ学科』をつくれれば全国から鉄キチがやってきますよ・・・」目を輝かせて興奮する彼らを見て、物事を一面的にみてはいけないということと、車庫の風景を殺風景だと決め付けていた自分の浅はかさを知ったことであつた。

3 良き「まち案内人」になるための5か条

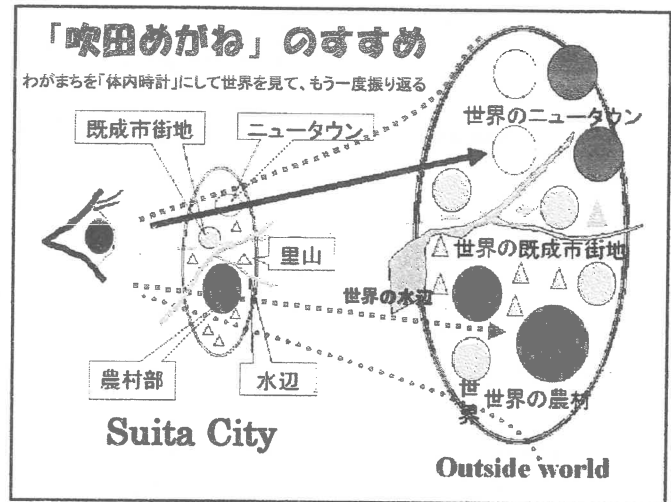
最後にいくつかの大切なポイントを整理した。

第1条 ガイドではなくインタープリーターになろう。まずは自分自身がまち歩き達人になる。そのコツは、「わが町では旅人のように、他所の町では地元人のように振舞う」こと。

第2条 わがまちこそが宝の山である。「足元を掘れ、そこに泉湧く」という。すべてに目配りし、とくに小さなものやコトに着目してみよう。

第3条 吹田めがねで世界をみよう。まちを構成するものやコトを一つ一つ世界の中に位置づけて比較し、その歴史と未来像を描いてみると、あらま不思議、それぞれが光輝いてくる。

第4条 ひそかに勉強して自分の「売り」をつくろう。そして嫌みなく自分の土俵に引きずり込むテクニックも身につけたい。情報は、自ら発信すればどんどん入り、ストックと友が増える。



第5条 情報を鵜呑みにするのではなく、つねに批判精神を忘れずに、すべてを自ら確認しよう。そして新しい見方を創造し、わがまちづくりに還元しよう。

付録

<吹田 たんけん・はっけん>

- S さすがに歴史の重みのある町だ、と思う。
 U うしろを振り返るのではなくて、
 I いまから、この町をどうするかを考えるために、まずは
 T たんけん・はっけんの旅に、出かけよう！
 A あまり無理をしなくても、このまちには
 S すばらしい「お宝」が、まちなかにごろごろ！
 H ほかの町と比較してみるといい。
 I いかにも、可能性にみちた、すてきな町に暮らしているのかを、まずはみんなで見つめてほしい。さあ、出発だ！

<吹田 ほっとけん>

- S 吹田のええとこが、だんだんうなつた。
 U うちの世代が、高度成長の過程で、
 I いっぺんに壊してもたんや。
 T たしかに「豊か」になった面もある。けど、
 A あほな、もったいないこともようけした。
 S そろそろ、わしらも時間切れや。
 H 本物がまだ残ってるうちに、保存と活用を
 I 急がなあかん。よきまち案内人をめざしてよう勉強して、仲間を増やして力を合わせ、ちゃんとええ町にして、次ぎの世代の人らに渡してから、死のやないか。オールドもニューも、独自の魅力を輝かせて「張り合い」つつ「連携」する作戦や！

吹操跡地まちづくりアイデアコンペに応募

100年の森

「21世紀すいたの森 命を守り育む森」を目指して

吹田市は、まちづくりの望ましい姿として「吹田操車場跡まちづくり全体構想」をまとめ、21世紀にふさわしいまちとして実現する為に、広くアイデアを募集するコンペを実施しました。(5月9日締切)

すいた市民環境会議は、かねてからこの跡地の利用については、種々の夢・意見を持ち、機会あることに意見を述べてきました。

そこですいた市民環境会員有志がアイデアコンペに応募しようと、数回集まり各自の夢と構想を語り合い、調整し、締切り直前にやっとまとめて、連名で提出しましたのでご紹介します。

*提案のコンセプト

この地は市内北部の丘陵地にくらべ、極端に緑地が少ない旧市街地にある。

地球温暖化の危機や少子高齢化社会などが進んでいる現在、一定規模の土地の再利用を考えられるまたとない機会と捉える。

世界に冠たる環境先進都市を目指し、自然再生推進法第二条(※文末参照)に基づき、地域の多様な主体が参加した土地の取得および“森の創生”を提案する。

50年から100年後を想定したまちづくりの前例として千里ニュータウンがある。これは約40年前、当時の技術と知恵を結集して建設されたものであるが、今日その計画は満点ではなかったことが明らかになり、再生が課題となっていることは衆知のことである。

このように「今日、これがベスト」と考えられる計画も将来の人口動態や社会情勢までは予測不可能である。そしてハードには耐用年数があり、ソフトにも賞味期限があることを自覚すべきであると考ええる。

御堂筋や名古屋・広島の100m道路、そして明治神宮の森など、過去のまちづくり事業で今日なお有用なものは、その時代にはその目的が疑問視されるほど余裕のある計画であり、眼前の利益にとらわれていない計画であった。

20世紀の繁栄を享受してきた私たちは、当該地から手にする当面の利益は最小限にして、心を

すいた市民環境会議有志(文責 田中隆三)

広く持ち、50年先、100年先の子孫が自由に作図できる土地を残しておいてこそ、100年を見据えた計画であり、子孫に感謝される計画であると信じる。

しかし、この地は、安全で安心な場でありたい。特に災害時には市民の命を守る場となり、平常時には市民の健康を創造する場でありたい。さらに、地球温暖化を促進させない場でもありたい。

その意味で森は上記の各条件を満たすものであり、さらに森は都市住民に癒しの場になり、身近な自然としてとりわけ子どもたちの心の成長には大切なものであると考える。

資金面について、計画(基本構想)にある医療健康創生ゾーンの土地はナショナル・トラスト方式で取得することを提唱する。多くの人々が出資して取得することで人々に「自分たちもまちづくりに参加している」という気持ちが生まれ、その後の森作りにも大きな影響を与える。その手法は行政と市民(国民)が協働で実施した知床100㎡運動に前例を求めたい。

簡単に表現すると、「もう20世紀型の開発はご免だ。21世紀の開発には自然再生とか自然創生の概念が必須だ。50年100年後を見据え、子供も大人も老人も憩えてしかも健康づくりの森を市民主導で作ろう」との提案である。

コンセプトに基づいたイメージ図を右頁に掲載します。

応募された全作品は下記予定で展示されます。

5月26日～5月29日 メインシアター

6月1日～6月3日 フォルテ摂津

ご意見・感想などお聞かせください。また、審査結果は6月中旬に公表の予定です。

(※) 自然再生推進法第二条

「自然再生」とは、過去に損なわれた生態系その他の自然環境を取り戻すことを目的として、関係行政機関、関係地方公共団体、地域住民、NPO法人、自然環境に関し専門的知識を有する者等の地域の多様な主体が参加して、河川、湿原、干潟、藻場、里山、里地、森林その他の自然環境を保全し、再生し、若しくは創出し、又はその状態を維持管理することをいう。

百年の森

「21世紀 すいたの森

命を守り育む森」を目指して

地球温暖化の危機、少子高齢化社会がすすんでいる。
市街地に残されたこの貴重な土地に森を創ろう。

森は、

人々を癒し、

身近な自然として

子どもたちの成長にかかせないもの。

市民の健康を創造し、

災害時には市民の命を守る。

地球温暖化防止のために

木を植えよう。

森を創ろう。

目の前の利益は最小限に、

五十年先、百年先の子孫が

自由に作園できる土地を残しておこう

ナショナル・トラスト方式で

土地を取得しよう。

地域の多様な主体が参加して、

環境先進都市を目指す

「森の創生」を提案する。



整備の基本方針

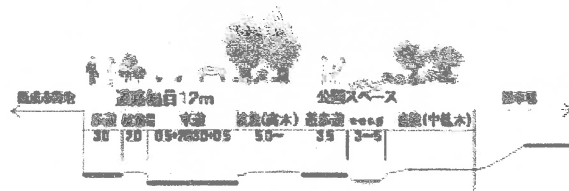
- みどりのネットワーク形成(回廊)
- 景観と環境整備のシンボルとしての森
- 健康づくりの拠点となる森の創生

- せせらぎがある森
- 手触りを感じる森
- 遊歩道・ジョギングコースの設置
- 緊急災害時の避難スペース・避難禁止区域

● 稲作体験・伝統作物の保存地の設置

● 公園緑地の設置

● 土のマネージメント計画の編成



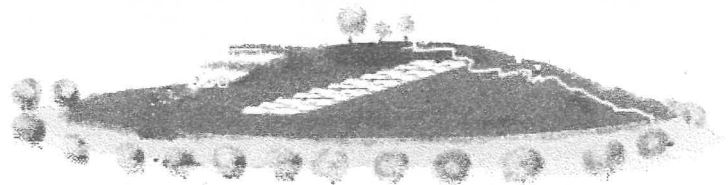
東西連絡道路構造
公園スペースを少しでも広く。

稲作体験の場・水田
スイタクワイ保存の場

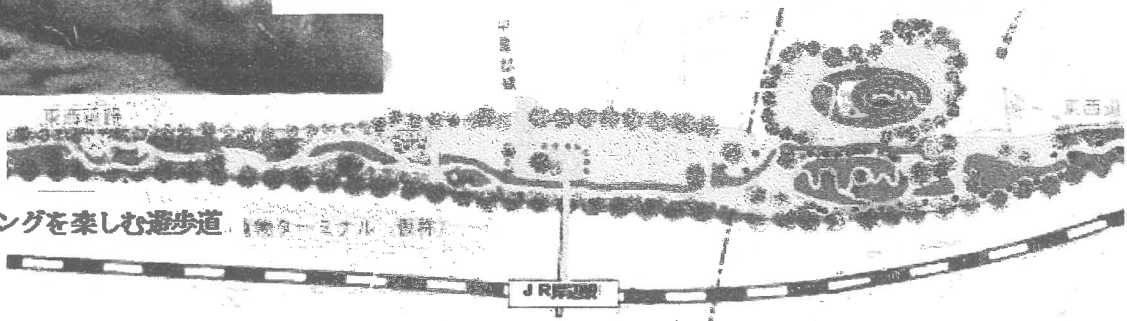


五感で感じる せせらぎ・森

屋上緑化・太陽光発電の保育所



散策やジョギングを楽しむ遊歩道 (他ターミナル 駅前)



吹田の古木・大木 マップ完成

(生きもの委員会) 平(ひら)軍二

1. 大木マップが完成

一昨年の予備調査でスタートした大木調査は、ようやくマップが完成し、皆さんにお届けできることとなりました。この間、お世話になった方は優に500名を越えており、ボランティア力結集の賜物と感謝しつつ、マップ完成の余韻に浸っています。

2. 吹田CATV特集番組「吹田の古木・大木」

5月2日～8日の一週間、吹田CATVの特集番組として「吹田の古木・大木」が放映されました。取材は紫金山公園と吉志部神社参道での大木調査です。マップ裏面に紹介したように、紫金山公園と吉志部神社参道の大木は16本ですが、アベマキ・エノキ・コナラ・シイノキ・ユーカリ・クロマツと種のバラエティに富んでいる上、大木だけでなく自然遷移や里山管理がわかる場所なので、TV用の舞台としてもまずまずだったと思います。



紫金山公園のアベマキ

3. 日本の巨木

日本全国の大木に目を向けると、1990年に第4回自然環境保全基礎調査「巨樹・巨木林調査」が行われました。幹周り300cm以上を調査対象の巨木と名づけ、55,798本が報告され、更に2000年には「巨樹・巨木林フォローアップ調査」として、巨木は64,479本が報告されています。

全国の幹周り第1位は鹿児島県「蒲生の大楠」と名づけられているクスノキ(2422cm)、2位は静岡県熱海市のクスノキ(2390cm)で、上位10本のうち8本はクスノキとなっているのは、吹田市と

似ています。クスノキ以外の木はイチョウ、カツラが各1本で、名前が良く知られている屋久島の縄文杉は1610cm、18位となっています。

2000年の巨木64,479本の種別内訳を見ると、トップがスギ14,869本、続いてケヤキ9,452本、クスノキ5,926本、イチョウ4,855本となっています。

全国にスギの巨木が多い理由は、縄文杉のように自然林の中にもあるが、社寺林として良く植樹され、切られず大事に管理されているためと思われる。近畿地方でも高野山や比叡山などでスギの巨木が多く、日本のシンボルツリーとなっているようです。

4. 全国版による吹田の巨木

この全国版に載っている吹田市の巨木は1990年版で5本、2000年版で13本です。何れも1本立ちのみを対象としているので、すいた市民環境会議の調査結果と大きく異なっています。2000年全国版フォローアップ調査時に、すいた市民環境会議の97年調査「すいたの古木・大木」を参考にされたかどうかわかりません。全国版の公表データは簡略化して記載されているので、「全国巨木データ」と「すいたの古木・大木データ」との対応を確認することができませんでした。

5. 大木観察会のご案内

今回作成したマップは、大木のある所を知ってもらい、大木の良さを実感してもらうことにあります。下記により第1回大木観察会を開催しますので、是非ご参加ください。

日時 7月5日(土)午前9時30分～12時

場所 関西大学正門前

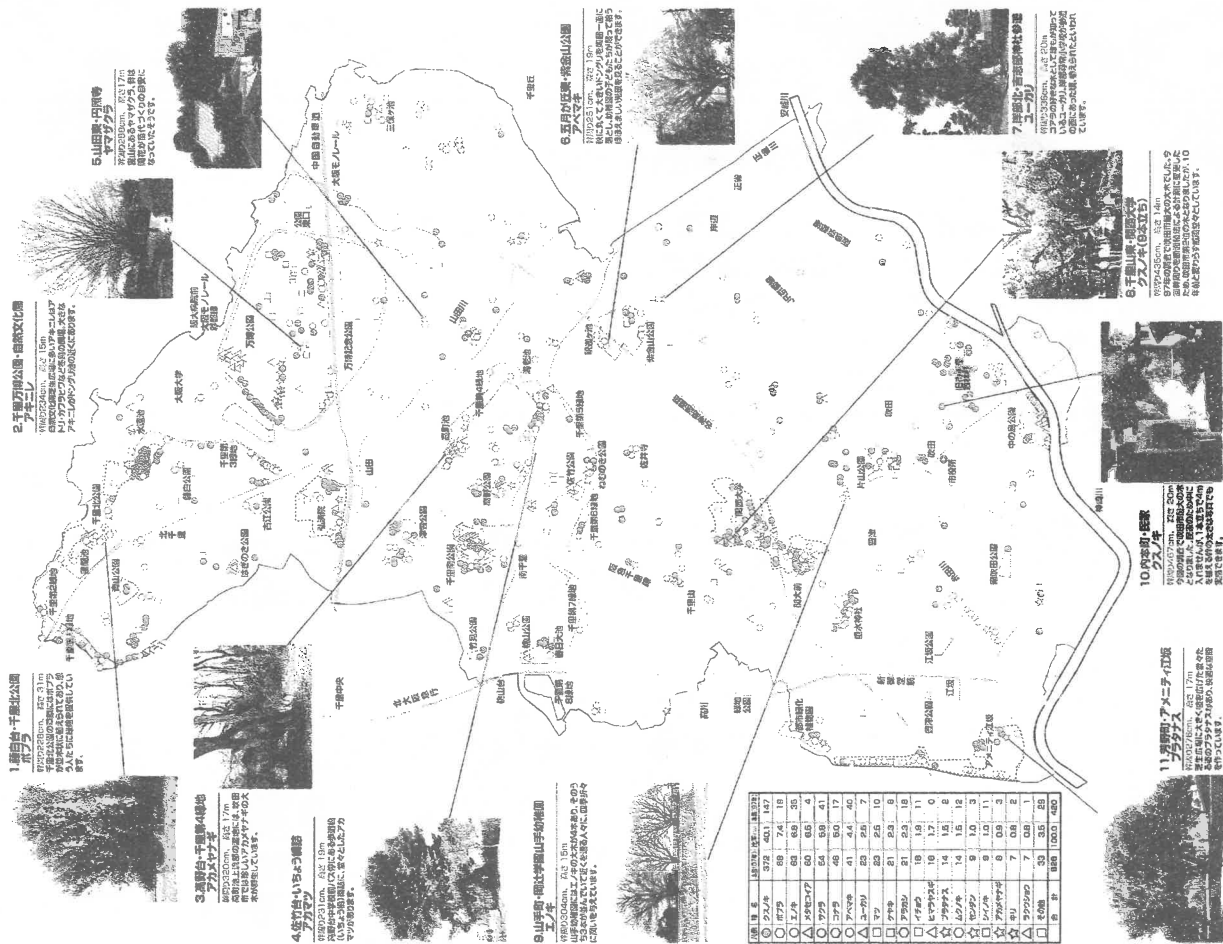
(阪急関大前駅北改札口を出て直進200m、右折して約300m)

内容 関西大学構内の大木を中心とする自然環境を見る。

備考 当日、午後1時30分より関西大学構内「凜風館」において「アジェンダ21すいた」総会が開催されます。すいた市民環境会議は「アジェンダ21」の団体会員ですので、どなたでも総会に出席できます。

吹田の古木・大木 928本

調査期間 2007年2月～12月
幹回り2m以上の木の本数が、10年前の2倍に
1997年調査の1割程度で420本だった。その約10倍、大木も増えつつあるが、その拡大に阻まれた木は多いと調査員が報告した。



園名	面積	樹種	本数	幹回り2m以上の木の割合
1. 千歳公園	10.0ha	スギ	372	42.1%
2. 万博公園	11.0ha	スギ	89	7.4%
3. 千歳公園	10.0ha	スギ	68	6.8%
4. 山手町	10.0ha	スギ	63	6.3%
5. 山田山	10.0ha	スギ	58	5.8%
6. 山田山	10.0ha	スギ	50	5.0%
7. 弘済院	10.0ha	スギ	25	2.5%
8. 千歳公園	10.0ha	スギ	25	2.5%
9. 万博公園	10.0ha	スギ	21	2.1%
10. 山田山	10.0ha	スギ	19	1.9%
11. 山田山	10.0ha	スギ	15	1.5%
合計	110.0ha	スギ	1020	102.0%

1 山手町 千歳北公園
面積 10.0ha、樹種 スギ 63本
この公園は、1997年調査の1割程度で420本だった。その約10倍、大木も増えつつあるが、その拡大に阻まれた木は多いと調査員が報告した。

2 千歳公園 千歳北公園
面積 10.0ha、樹種 スギ 89本
この公園は、1997年調査の1割程度で420本だった。その約10倍、大木も増えつつあるが、その拡大に阻まれた木は多いと調査員が報告した。

3 千歳公園 千歳北公園
面積 10.0ha、樹種 スギ 68本
この公園は、1997年調査の1割程度で420本だった。その約10倍、大木も増えつつあるが、その拡大に阻まれた木は多いと調査員が報告した。

4 山手町 千歳北公園
面積 10.0ha、樹種 スギ 63本
この公園は、1997年調査の1割程度で420本だった。その約10倍、大木も増えつつあるが、その拡大に阻まれた木は多いと調査員が報告した。

5 山田山 千歳北公園
面積 10.0ha、樹種 スギ 58本
この公園は、1997年調査の1割程度で420本だった。その約10倍、大木も増えつつあるが、その拡大に阻まれた木は多いと調査員が報告した。

6 山田山 千歳北公園
面積 10.0ha、樹種 スギ 50本
この公園は、1997年調査の1割程度で420本だった。その約10倍、大木も増えつつあるが、その拡大に阻まれた木は多いと調査員が報告した。

7 弘済院 千歳北公園
面積 10.0ha、樹種 スギ 25本
この公園は、1997年調査の1割程度で420本だった。その約10倍、大木も増えつつあるが、その拡大に阻まれた木は多いと調査員が報告した。

8 千歳公園 千歳北公園
面積 10.0ha、樹種 スギ 25本
この公園は、1997年調査の1割程度で420本だった。その約10倍、大木も増えつつあるが、その拡大に阻まれた木は多いと調査員が報告した。

9 万博公園 千歳北公園
面積 10.0ha、樹種 スギ 21本
この公園は、1997年調査の1割程度で420本だった。その約10倍、大木も増えつつあるが、その拡大に阻まれた木は多いと調査員が報告した。

10 山田山 千歳北公園
面積 10.0ha、樹種 スギ 19本
この公園は、1997年調査の1割程度で420本だった。その約10倍、大木も増えつつあるが、その拡大に阻まれた木は多いと調査員が報告した。

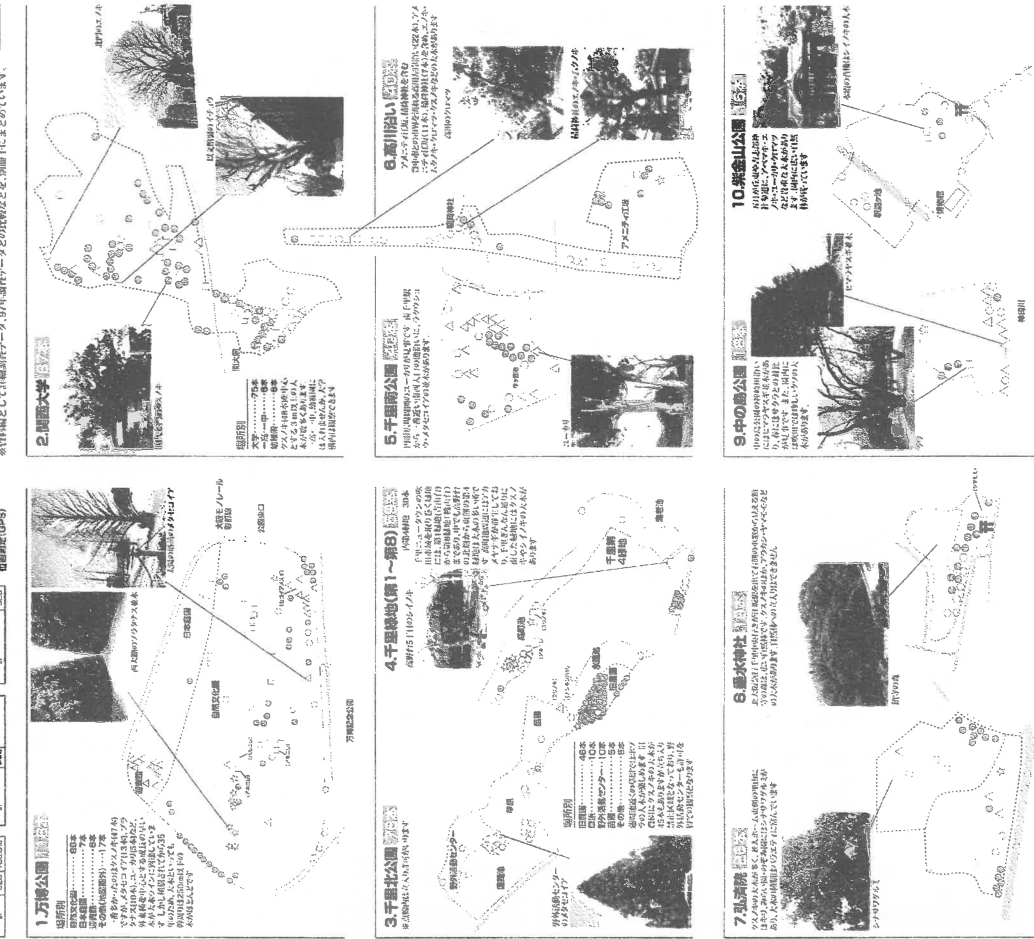
11 山田山 千歳北公園
面積 10.0ha、樹種 スギ 15本
この公園は、1997年調査の1割程度で420本だった。その約10倍、大木も増えつつあるが、その拡大に阻まれた木は多いと調査員が報告した。

訪ねてみたい大木の郷10カ所

大木のある場所は公園、学校、神社、仏閣、民家などですが、大木が多く、10カ所を大木と数えられた。このマップを参考に、大木を訪ねてみてください。

園名	面積	樹種	本数	幹回り2m以上の木の割合
1. 千歳公園	10.0ha	スギ	372	42.1%
2. 万博公園	11.0ha	スギ	89	7.4%
3. 千歳公園	10.0ha	スギ	68	6.8%
4. 山手町	10.0ha	スギ	63	6.3%
5. 山田山	10.0ha	スギ	58	5.8%
6. 山田山	10.0ha	スギ	50	5.0%
7. 弘済院	10.0ha	スギ	25	2.5%
8. 千歳公園	10.0ha	スギ	25	2.5%
9. 万博公園	10.0ha	スギ	21	2.1%
10. 山田山	10.0ha	スギ	19	1.9%
11. 山田山	10.0ha	スギ	15	1.5%
合計	110.0ha	スギ	1020	102.0%

園名	面積	樹種	本数	幹回り2m以上の木の割合
1. 千歳公園	10.0ha	スギ	372	42.1%
2. 万博公園	11.0ha	スギ	89	7.4%
3. 千歳公園	10.0ha	スギ	68	6.8%
4. 山手町	10.0ha	スギ	63	6.3%
5. 山田山	10.0ha	スギ	58	5.8%
6. 山田山	10.0ha	スギ	50	5.0%
7. 弘済院	10.0ha	スギ	25	2.5%
8. 千歳公園	10.0ha	スギ	25	2.5%
9. 万博公園	10.0ha	スギ	21	2.1%
10. 山田山	10.0ha	スギ	19	1.9%
11. 山田山	10.0ha	スギ	15	1.5%
合計	110.0ha	スギ	1020	102.0%



1 万博公園
面積 11.0ha、樹種 スギ 89本
この公園は、1997年調査の1割程度で420本だった。その約10倍、大木も増えつつあるが、その拡大に阻まれた木は多いと調査員が報告した。

2 山手町
面積 10.0ha、樹種 スギ 63本
この公園は、1997年調査の1割程度で420本だった。その約10倍、大木も増えつつあるが、その拡大に阻まれた木は多いと調査員が報告した。

3 千歳公園
面積 10.0ha、樹種 スギ 68本
この公園は、1997年調査の1割程度で420本だった。その約10倍、大木も増えつつあるが、その拡大に阻まれた木は多いと調査員が報告した。

4 山田山
面積 10.0ha、樹種 スギ 58本
この公園は、1997年調査の1割程度で420本だった。その約10倍、大木も増えつつあるが、その拡大に阻まれた木は多いと調査員が報告した。

5 山田山
面積 10.0ha、樹種 スギ 50本
この公園は、1997年調査の1割程度で420本だった。その約10倍、大木も増えつつあるが、その拡大に阻まれた木は多いと調査員が報告した。

6 弘済院
面積 10.0ha、樹種 スギ 25本
この公園は、1997年調査の1割程度で420本だった。その約10倍、大木も増えつつあるが、その拡大に阻まれた木は多いと調査員が報告した。

7 千歳公園
面積 10.0ha、樹種 スギ 25本
この公園は、1997年調査の1割程度で420本だった。その約10倍、大木も増えつつあるが、その拡大に阻まれた木は多いと調査員が報告した。

8 万博公園
面積 10.0ha、樹種 スギ 21本
この公園は、1997年調査の1割程度で420本だった。その約10倍、大木も増えつつあるが、その拡大に阻まれた木は多いと調査員が報告した。

9 山田山
面積 10.0ha、樹種 スギ 19本
この公園は、1997年調査の1割程度で420本だった。その約10倍、大木も増えつつあるが、その拡大に阻まれた木は多いと調査員が報告した。

10 山田山
面積 10.0ha、樹種 スギ 15本
この公園は、1997年調査の1割程度で420本だった。その約10倍、大木も増えつつあるが、その拡大に阻まれた木は多いと調査員が報告した。

企画・編集 NPO法人吹田市民環境調査会 吹田市民環境調査会事務局 〒16-8 <http://www.big.or.jp/~osaka/seskk.htm>
このマップは非営利の「第2回吹田市民環境調査会」の成果として作成されました。

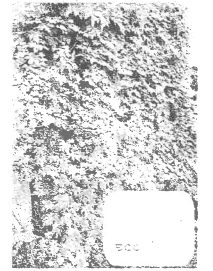
「みどりのカーテン」 シーズン開幕!

もうすぐ大阪の夏!
暑くて熱い夏がやってきます!
今年も「みどりのカーテン」のシーズン開幕です!

報告:生活環境委員会 喜田久美子

まだ試していない方も、今年こそ、
ぜひ「みどりのカーテン」の涼しさ、心地よさ、おいしさを
実感してみてください!

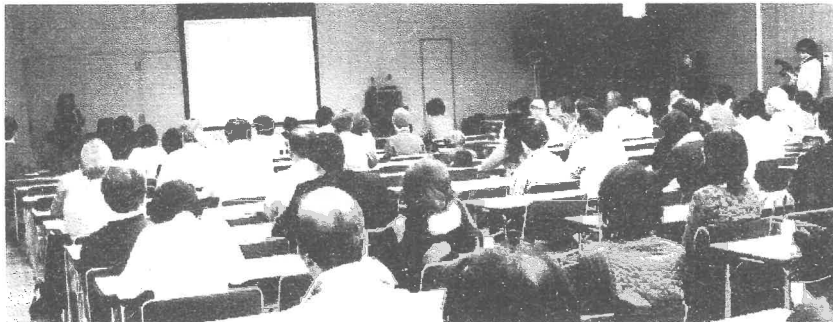
「ガイドブック」できました。アジェンダ 21
すいた自然部会作成です。ポケットサイズのリー
フレットです。地球環境課で配布しています。⇒



アジェンダ21すいた、エコプレス・制作

「みどりのカーテン講座」開催しました 4/20 (アジェンダ21すいたエネルギー部会・自然部会との協働)

今年初めての「みどりのカーテン講座」はメイシアター集會
室で開催。予定の70人を超える84人の参加者で埋まりました。
小田アジェンダ21すいた副代表の挨拶のあと、ヒートアイラン
ド現象についての解説があり、昨年取り組んだ方からの体験談
が披露されました。育て方説明を寺西信昭さん(株・グリーンスタ
ジオ)が実演を交えて説明、最後にゴーヤの苗をプレゼントしました。



【取組み体験談】

小松さんは、記録を
取って、見事に繁っ
たみどりのカーテン
の涼しさを確認した
とのこと。また段ボ
ール箱で作る生ごみ
堆肥の紹介もされま
した。橋本さんはみ
どりのカーテンで事
務所の熱気が緩和さ
れ光熱費が減ったこ
とを話されました。

体験を語る小松さん



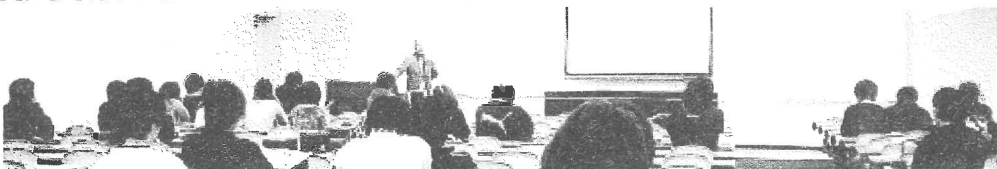
ヒートアイランド現
象と温暖化は密接な
関係があります。環
境活動の広がりを願
ってゴーヤの苗をプ
レゼントしました。



「みどりのカーテン講座」は下記でも開催します。

- 5/25 13:00~東山田地区公民館
- 6/7 10:00~東佐井寺地区公民館 申込み:公民館まで
- 6/21 10:00~メイシアター(すいた環境教育フェア) 申込み:不要

大阪学院大学でゲストティーチャー 4/26 5/10



大阪学院大学では全学部1年次を対象と
した(前期)総合科目講座(テーマ:都市
における環境創造の担い手)に市内のNP
O、任意団体、企業や行政から講師を招い
て授業をしています。そのトップバッター
として環境会議が2回の講座を担当しま
した。4月26日は活動内容を紹介しつつ、
環境に対するNPOや市民のあり方を講義
しました。5月10日には、生活環境問題
への身近なアプローチ・アクションにつ
いて紹介、エコッキングのカレーの試食も
してもらいました。

↑4/26 小田会長による講義。



↑5/10 保温調理カレーを食器持参で試食。
食後は食器の拭き取りもしてもらいました。

👉 読んでね!

今回も
関大ゼミ生が
作成した
「エコプレス」4月号を
同封しています。
読んでくださいね!

イオン（ジャスコ南千里店）・すいた市民環境会議 共催

2008年 環境学習バスツアー報告

樫原昆虫館・飛鳥歴史公園石舞台・桜井市グリーンパーク

2008年4月5日 五月が丘 岸 浩子

私たち母子にとって通算4回目となる今回のバスツアーは、天候にも恵まれ、無事とりおこなわれました。

まずは樫原市昆虫館へ。今回一緒したお友だちのIくんの母によると、近畿にいくつかある昆虫館の中でも一番良い！とのこと。確かに充実した展示等でした。プラス動きのある“生”の展示も良かったです。ミツバチの巣箱の中の様子なんて普通はあんな間近では見られないですね。

それから放蝶温室。たくさんの蝶が舞っていて感激！以前行った箕面公園昆虫館の放蝶園では蝶の数が少なくて大変がっかりしたのですが、ここでは嬉しくなるくらい蝶が飛び回っていて、一気に華やいだ気分になりました。子どもの髪に何羽もの蝶がとまっていました。甘い香りのするところに蝶は寄ってくると聞いて、私には甘い香りが無いのか、蝶がとまりに来てくれないかなあー、残念・・・と思っていたら、そんな私の気持ちを察してか？ 出口付近で私にも蝶がとまってくれてマジで嬉しかったです（＾＾）

その後、近くの公園で昼食タイム。満開の桜の木の下で食べるお弁当は美味しかったです。途中で雨に降られた昨年、強風に苦慮した一昨年を思うと、春うらら・・・穏やかな癒しのひとときでした。

次に石舞台古墳へ。私にとっては20年ぶりに訪れた石舞台。前に来た時は寒風吹きすさぶ2月で、私と友人の他は誰もおらず、威厳の中にも寂寥感が漂っていた石舞台が、今回は暖かい陽射しの中、満開の桜と多くの観光客に囲まれて、何だか華やいで見えました。でも、石舞台の中の凛とした空気は、20年前も今も変わりなく思えました。

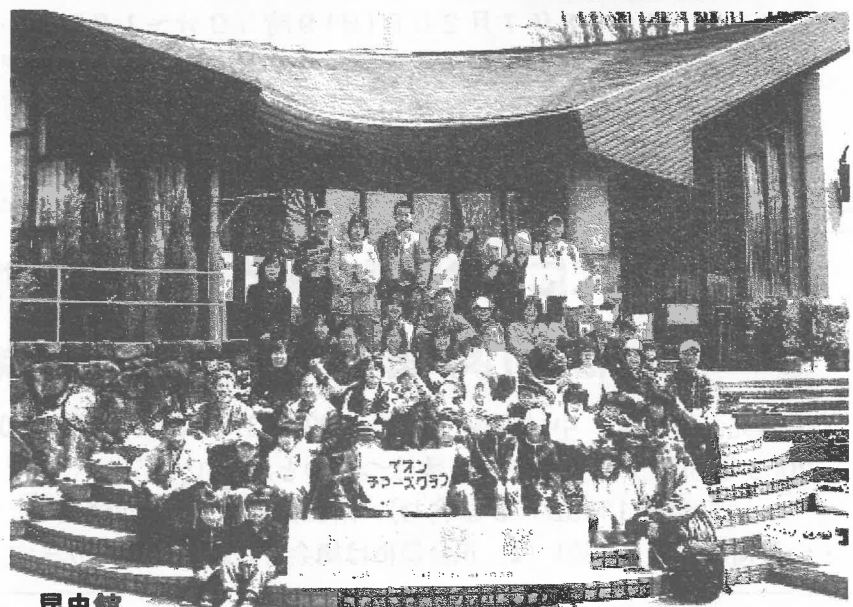
最後に訪れたのが、桜井市グリーンパーク。パーク内には、ごみ焼却炉・リサイクルプラザ（リサイクルセンター・ストックヤード・管理・工房）及びし尿処理場があります。一般廃棄物循環型社会基盤施設という長ったらしい施設名ですが、分別収集による資源のリサイクルを考えるとともに、

市民が気軽に利用できる環境学習機能、市民工房を併せ持つことにより、今までのごみ処理施設のイメージを一新し、市民のふれあい交流の場として活用できるように整備された施設だそうで、今回は主にリサイクルプラザを見学しました。職員さんが親切丁寧に案内してくれました。吹田のくるくるプラザのちょっと進化したバージョンという感じでした。新しい建物なので、最新の立派な設備が整っていました。ぜひとも有効に活用してもらいたいと思いました。

そんなこんなで今年も充実していたバスツアー。息子と一緒に参加するのも今回で最後かもしれませんが、様々なことについて勉強になり、楽しい思い出もでき、有意義な春休みの1日になりました。最後に、関係者のみなさま、本当にお世話になり、どうもありがとうございました！



石舞台



昆虫館

第9回 通常総会のご案内

日時：6月22日（日）午後2時から5時

場所：男女共同参画センター（デュオ）

総会后、大木調査報告会、ボング（市役所前）で懇親会をおこないます（会費3,000円程度）
理事・監事の追加募集：立候補・推薦を受付ます。6月15日（日）までに事務局へ
詳細は総会資料を参照下さい。

問合せ先：事務局 中村 TEL 090-8375-0647 FAX 06-6386-9491

07年度も多額の寄付を戴きました 有難うございます

・吹田千里ライオンズクラブから100万円、下記の方々より寄付 合計262,750円、ディオス北千里商店会の夢シール（換金額12,000円）を戴きました。有難うございます。

<07年度寄付者御氏名（順不同 敬称略）>

奥田倫子、川井悠子、草野弘靖、梅田 茂、青木タミ子、海原登美子、木村雄次郎、塩田敏治、木下嘉清、小儀動物病院、松田和子・遼、梅田 茂、後藤 峯、高桑常子、千代延明憲、彦坂利久、北野靖子、西川怜子、上田万吉、田中 宏、梅原章一、高島耕一郎、荻野和良、佐藤和子、中村小夜子、西川整子、喜田久美子、武田啓子、匿名3名。

（会計担当：小田信子・具志堅葉子）

◇◇◇ 散策会のご案内 ◇◇◇

本年は従来の「あろく吹田」散策会とは視点を変えて、吹田の探検・発見に出かけます。

北千里の彫刻を訪ねて（現代美術を愉しもう塾と共催）

- ・日時：2008年6月14日（土）9時30分～12時（小雨決行）
- ・集合：阪急北千里駅改札前 9時30分 解散：同駅 12時
- ・コース：北千里駅～藤白公園～千里北公園～青山公園～北千里駅
昭和45年千里開発骨子完成記念の新宮晋の「風の道」や昭和42年の千里野外彫刻展の作品などを訪ねて公園を散策します。
- ・参加費：会員200円 非会員300円
- ・申込先：大越（TEL 090-7768-5423）定員25名

南吹田地区探訪～JR新駅・貨物専用道出口周辺を訪ねて～

- ・日時：2008年7月20日（日）9時30分～12時（小雨決行）
- ・集合：阪急吹田駅梅田側改札前 9時30分 解散：同駅周辺 12時
- ・コース：JR線路に沿って南吹田3丁目～2丁目・1丁目～南清和園～川岸町～中之島公園・勤労青少年ホーム・寿町児童センターなどを探訪
- ・参加費：無料 申込先：大越（TEL 090-7768-5423）定員25名

友人・知人に入会を勧めよう！ 会員の増大をはかろう！

未来によりよい環境を！ 仲間を増やし楽しく活動を！

- ・連絡先：事務局 中村小夜子 TEL 090-8375-0647 FAX 06-6386-9491
- ・2008年5月1日現在の会員数はつぎのとおりです。
正会員133（法人5を含む）、購読会員65、賛助会員1、合計199人
- ・会員種別の大きな違いは、正会員には総会での議決権があります。